

## 「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」 「毎月分配型」 2018年5月25日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」 「毎月分配型」の2018年5月25日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算におきまして、基準価額水準や市場動向等を総合的に勘案し、「円コース」、「豪ドルコース」、「ニュージーランドドルコース」、「ブラジルリアルコース」の分配金を引き下げることいたしました。なお、それ以外のコースにつきましては、前回決算の分配金額から変更ありません。

各コースの分配金引き下げの背景、米国ハイ・イールド債の投資環境と今後の見通しに関する詳細な説明については次ページ以降をご参照ください。

### 【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド	円コース (毎月分配型)	豪ドルコース (毎月分配型)	ニュージーランドドルコース (毎月分配型)	ブラジルリアルコース (毎月分配型)	南アフリカランドコース (毎月分配型)	メキシコペソコース (毎月分配型)
分配金額 (前回決算)	20円 (30円)	40円 (60円)	40円 (60円)	40円 (60円)	30円 (30円)	40円 (40円)
決算日の基準価額	8,681円	9,969円	8,389円	4,839円	6,033円	6,016円
決算日の基準価額 (分配金再投資) (前回決算)	15,997円 (16,063円)	20,959円 (21,106円)	22,716円 (23,395円)	18,896円 (19,845円)	19,403円 (19,557円)	17,648円 (18,435円)
分配金額 設定来累計	6,240円	8,710円	10,920円	10,870円	9,200円	10,210円

前回決算:2018年4月25日、設定日:2009年9月9日

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。

なお、毎年2月および8月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

\* 「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

## 【分配金引き下げの背景】

## 円コース(毎月分配型)

「円コース(毎月分配型)」の基準価額は、2016年2月にかけて世界景気の減速懸念や原油価格の下落などを受けて下落しましたが、その後は米国経済の回復などを背景に概ね堅調に推移しました。ただし2016年以降は、米国短期金利が上昇したことなどから、為替取引によるコストが増加したことを主な要因として、いわゆるインカム収入は減少傾向となりました。

直近3年間で見ると、2018年5月25日現在の基準価額(分配金再投資)は、この期間の最安値である2016年2月12日比で15.7%上昇となった一方、基準価額は分配金の払い出しなどにより同2.7%の上昇に留まっています。

ファンドは原則として、利子・配当等収益等を中心に分配することを基本としています。今回の決算においては、インカム収入の水準や基準価額水準、ファンドを取り巻く投資環境などを総合的に勘案し、分配金を20円(前回決算時は30円)に引き下げることにしました。

## 《「円コース(毎月分配型)」の基準価額の推移》



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 《米ドルの短期金利の推移》



短期金利:1ヵ月LIBOR

(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【分配金引き下げの背景】

豪ドルコース(毎月分配型)

「豪ドルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2016年2月にかけて世界景気の減速懸念や原油価格の下落などを受けて下落しましたが、その後は米国経済の回復などを背景に概ね堅調に推移しました。ただし2016年以降は、米国短期金利が上昇したことなどから、為替取引によるプレミアムが減少したことを主な要因として、いわゆるインカム収入は減少傾向となりました。

直近3年間では、2018年5月25日現在の基準価額(分配金再投資)は、この期間の最安値である2016年2月12日比で25.7%上昇となった一方、基準価額は分配金の払い出しなどにより同5.2%の上昇に留まっています。

ファンドは原則として、利子・配当等収益等を中心に分配することを基本としています。今回の決算においては、インカム収入の水準や基準価額水準、ファンドを取り巻く投資環境などを総合的に勘案し、分配金を40円(前回決算時は60円)に引き下げることにしました。

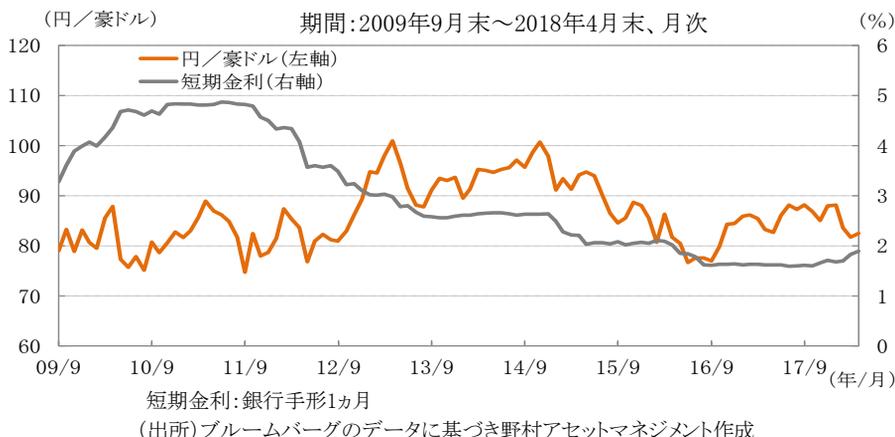
《「豪ドルコース(毎月分配型)」の基準価額の推移》



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

《豪ドルの為替レート(対円)と短期金利の推移》



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【分配金引き下げの背景】

ニュージーランドドルコース(毎月分配型)

「ニュージーランドドルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2016年2月にかけて世界景気の減速懸念や原油価格の下落などを受けて下落しましたが、その後は米国経済の回復などを背景に概ね堅調に推移しました。ただし2016年以降は、米国短期金利が上昇したことなどから、為替取引によるプレミアムが減少したことを主な要因として、いわゆるインカム収入は減少傾向となりました。

直近3年間では、2018年5月25日現在の基準価額(分配金再投資)は、この期間の最安値である2016年1月21日比で23.0%上昇となった一方、基準価額は分配金の払い出しなどにより同7.0%下落しています。

ファンドは原則として、利子・配当等収益等を中心に分配することを基本としています。今回の決算においては、インカム収入の水準や基準価額水準、ファンドを取り巻く投資環境などを総合的に勘案し、分配金を40円(前回決算時は60円)に引き下げることにしました。

《「ニュージーランドドルコース(毎月分配型)」の基準価額の推移》



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

《ニュージーランドドルの為替レート(対円)と短期金利の推移》



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 【分配金引き下げの背景】

## ブラジルリアルコース(毎月分配型)

「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2016年2月にかけて世界景気の減速懸念や原油価格の下落などを受けて下落しましたが、その後は米国経済の回復などを背景に概ね堅調に推移しました。ただし2016年以降は米国短期金利が上昇し、さらに2017年に入るとブラジルの短期金利が低下したことなどから、為替取引によるプレミアムが減少しました。そのような背景により、いわゆるインカム収入は減少傾向となりました。

直近3年間では、2018年5月25日現在の基準価額(分配金再投資)は、この期間の最安値である2016年1月21日比で48.5%上昇となった一方、基準価額は分配金の払い出しなどにより同6.3%の上昇に留まっています。

ファンドは原則として、利子・配当等収益等を中心に分配することを基本としています。今回の決算においては、インカム収入の水準や基準価額水準、ファンドを取り巻く投資環境などを総合的に勘案し、分配金を40円(前回決算時は60円)に引き下げることにしました。

## 《「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の基準価額の推移》



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 《ブラジルリアルの為替レート(対円)と短期金利の推移》



短期金利:国債1ヵ月

(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 【米国ハイ・イールド債の投資環境と今後の見通し】

2015年半ばから下落していた米国ハイ・イールド債は、2016年2月には原油価格が回復したことや米国の利上げが緩やかなペースになるとの観測が広がったことなどから反発しました。その後も堅調な米国景気などを背景に上昇基調が継続しています。

米国ハイ・イールド債券のデフォルト(債務不履行)率は、引き続き低水準にとどまっており、今後もその傾向は維持されると考えられます。また、先進国を中心に低金利環境が続く中で、米国ハイ・イールド債券の相対的に高い利回りに対する投資家の需要がある点も、米国ハイ・イールド債券のサポート要因であると考えます。一方、米国ハイ・イールド債券市場の一部の銘柄は、既に米国における景気拡大を織り込んだ価格水準になっており、今後は銘柄選択の重要性がより増す局面になると考えます。

上述の見通しの下、マクロ環境の変化に対する耐性なども配慮しながら業種・銘柄選択を行なう方針です。

### < 米国ハイ・イールド債(BB~B格)のパフォーマンスと利回りの推移(米ドル建て) >

期間:2009年9月末~2018年4月末、月次



期間:2017年4月30日~2018年4月30日、日次



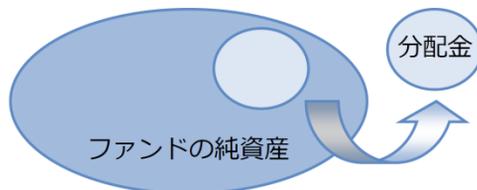
米国ハイ・イールド債(BB~B格):ICE BofAML BB-B US Cash Pay High Yield Constrained Index、米ドル建て  
(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

今後とも、「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

## 分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

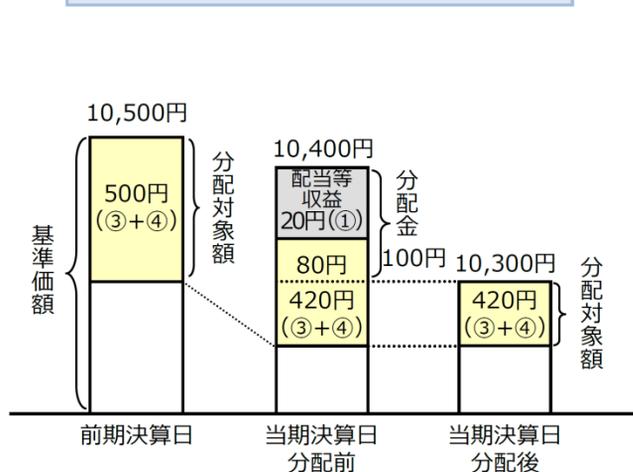
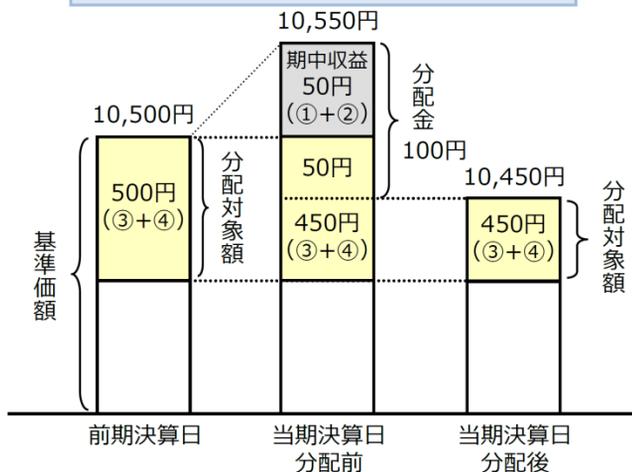
・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

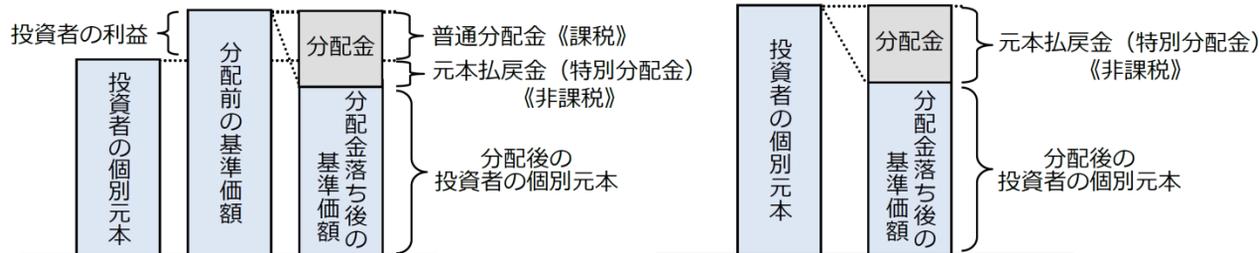
### 前期決算から基準価額が上昇した場合

### 前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

## 《ファンドの特色》

- 「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる6つのコース(円コース、豪ドルコース、ニュージーランドドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、メキシコペソコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))およびマネープールファンド(年2回決算型)の13本のファンドから構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く6つのコースを総称して「各コース」といいます。)
  - ◆高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
  - ◆米ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象\*とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆円建ての外国投資信託「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド\*」および国内投資信託「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を投資対象とします。  
※「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンドA」および「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンドB」を総称して「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」といいます。  
・「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」には、為替取引手法の異なる6つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
豪ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、豪ドルを買う為替取引を行いません。
ニュージーランドドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ニュージーランドドルを買う為替取引を行いません。
ブラジルリアルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行いません。
南アフリカランドコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、南アフリカランドを買う為替取引を行いません。
メキシコペソコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、メキシコペソを買う為替取引を行いません。

- ◆通常の状況においては、「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」への投資を中心とします\*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。  
※通常の状況においては、「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
  - ◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。
  - ◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象\*とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
  - ◆ファンドは「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 各コースの運用にあたっては、ピムコジャパンリミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。
- 分配の方針
  - ◆毎月分配型  
原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年2月および8月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。  
※「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。
  - ◆年2回決算型  
原則、毎年2月および8月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向によっては上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前ののものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

＜投資リスク＞

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

- 信託期間 【各コース】  
2024年8月26日まで(2009年9月9日設定)  
【マネープールファンド】  
2019年8月26日まで(2009年9月9日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月25日。  
休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、2月および8月の25日。  
休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額  
●ご購入単位  
ご購入申込日の翌営業日の基準価額  
1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額  
【マネープールファンド】  
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨーク証券取引所  
・ブラジル商品先物取引所(ブラジルリアルコースのみ)  
・サンパウロの銀行(ブラジルリアルコースのみ)
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2018年5月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社に確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年1.6524%(税抜年1.53%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(2018年5月18日現在年0.001188%(税抜年0.0011%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

当資料で使用した市場指数について

- 「ICE BofAML BB-B US Cash Pay High Yield Constrained Index SM/®」は、ICE Data Indices,LLCまたはその関連会社(「ICEデータ」)の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。

◆お申込みは

野村證券

商号:野村證券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★  
http://www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★  
http://www.nomura-am.co.jp/mobile/

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。